

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	満江 菜穂子
主な担当科目	室内楽Ⅰ,室内楽Ⅱ,副科グループレッスン,器楽
2025年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	実技レッスンにおいては、これまでの演奏活動で経験してきたこと、研究で得てきた知識をもとに、学生らが音楽の学修ならびに演奏にそれらを取り入れ、それぞれが前向きにスキルアップできるよう尽力したい。楽器研究やピリオド演奏研究をはじめ、様々な学科目講義においては、幅広い分野の学生らに理解を促すために、内容を吟味したい。
2025年の教育に関 する自己評価	実技レッスンは、コミュニケーションが良好で良い信頼関係を築くことができ、ており、学生の成長を感じた。学科目について、特に大学院のピリオド演奏研究は、以前より増して、留学生の理解度に心配が残った。
2025年のFD活動 に関する自己評価	合同FD研修会をはじめ、弦管打楽器部会、大学院、基礎ゼミ分科会、音楽教養分科会、芸術特別研究分科会のFDでも他の先生方との意見交換を行い、有意義なFD活動ができた。
授業改善のために 取り入れた研修内容	FD研修会で他の先生方の工夫や取り組みを知り、多様な学生への関わり方について多くの示唆を得た。特に、全体会でのゲスト講師によるハラスメントに関する講話は、学生が安心して学べる環境づくりの重要性を再認識する契機となった。

2025 年度(秋学期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:1749 教員名:満江 菜穂子

1)アンケート結果に対する所見

全体として、授業内容や指導方法、教育到達目標の達成度、総合的満足度について高い評価を得ることができた。特に実技科目では、丁寧な個別指導や一人ひとりの習熟度に応じた指導が評価され、専門的知識や演奏技術の向上につながったことがうかがえる。また、講義科目においても、専門分野にとどまらない幅広い内容を取り上げたことにより、知識や視野が広がったとの評価が見られた。自由記述では、歴史的背景や多様な奏法への理解が深まり、学ぶ意欲が高まったとの意見が寄せられており、授業内容がおおむね教育目標に沿った成果を上げていると考える。

2)要望への対応・改善方策

学生から寄せられた意見を踏まえ、引き続き学生一人ひとりの理解度や習熟度に応じた丁寧な指導を行うとともに、演奏技術だけでなく音楽文化や歴史的背景への理解を深める授業づくりを継続する。また、講義科目では、学生が主体的に学びを深められるよう、内容の整理や説明方法を工夫し、授業内での対話や振り返りの機会を充実させる。さらに、見学や実習を伴う授業については、他科目との日程調整や事前の情報共有を可能な限り丁寧に行い、学生が安心して履修できる環境づくりに努める。

3)今後の課題

今後も学生の主体的な学修を促し、専門的な知識・技能の習得とともに、自ら考え表現する力を育成できる授業を目指す。授業アンケートや授業内での意見を継続的に授業改善へ反映し、教育内容・指導方法のさらなる充実を図るとともに、多様な学習背景を持つ学生が意欲的に学べる教育環境の整備に努めていく。

以 上